

実務経験のある教員による授業科目時間数

課程名	学科名	授業時数合計	省令で定める 基準授業時数
商業実務専門課程	地域未来情報テクノロジー科	180 時間	160 時間

実務経験のある教員等による授業科目一覧

授業科目名	時間	授業概要
IoT 技術実習 1	30	コンピュータ関連企業において IoT 開発に携わっていた教員が、IoT の仕組みや実売されている商品がどのように商品化されていくのかを、事例をあげて解説します。 また、学んだことを基礎として学生自身でも IoT 商品のアイデアや商品化までのフローを企画します。
効果的なプレゼンテーション技法	30	コンピュータ関連企業において、システム等を顧客先に提案する際に使われている効果的なプレゼン技術について具体的な参考事例をあげ、更に自身の作成するプレゼンを企画、発表を繰り返すことで効果的なプレゼンテーション技術を学びます。更に、プレゼンテーションターゲットの設定、事前調査等について実例を参考に概観します。
Web デザイン 1	30	コンピュータ関連企業において Web サイト開発に携わっていた教員が担当します。 本講義では Web デザインの基本技術を学ぶとともに Web デザインの目的について学びます。 また、広報、通販等各種 Web サイトの構築目的に合う Web サイトデザインについても実例を参考に概観します。
家畜人工授精師	30	獣医師として、家畜の繁殖・疾病対策に従事していた教員が担当します。 本講義では、家畜の生態や発生しやすい疾病を、獣医師としての経験事例をあげて詳しく説明し、酪農現場に必要な知識と技術を習得します。 家畜人工授精師は、家畜の人工授精や受精卵移植を取り扱うことのできる国家資格であり、受胎率向上や家畜改良の推進など、農場経営に大きな影響を及ぼす職業です。
酪農メカニク・施設学 1	60	獣医師として、診療とともに、農場毎の経営システムをサポートしていた教員が担当します。 牧場での作業体系・個体管理・繁殖管理・分娩管理、あるいは飼料生産作業などについて多くの経営システムをサポートしてきた経験を活かした事例をあげて解説することで、酪農作業全般の知識と技術を探求し、実習を中心に実践的に学びます。